

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目Ⅰ		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishimur@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
1年次に身につけた学力を基にして、さらなる読解力向上のための訓練を行ない、英語による自己表現が可能となる素地を作る。この授業ではテープなどを用いて聴解力を養う練習も行なう。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
(火曜1限、前期の継続)西本徹著「オピニオンの相違から学ぶ英語」(Both Sides Now)、成美堂

【授業内容とその進め方】
具体的な目的は、読解力の向上を図るために「文章構造の認識」と「文脈の理解」ができるようにすることである。授業では1年次までに習った基礎的知識をテキストの英文に応用して、段落ごとの内容をつかんでいく。テキストは15課構成で、各課を2回分の授業で扱う。各授業では内容把握を主眼にして、約1ページの英文を読んで練習問題を解いていく予定。また、英語による自己表現に必要な知識を身につける。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法(1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)(2) 出席状況(妥当な理由のない欠席・遅刻は減点評価する)(3) 授業中の態度や、発表の仕方 さらに、臨時に小テストをする場合がある評価基準以下の2つの基準に基づく。(大学作成)100-90点は秀、89-80点は優、79-70点は良、69-60点は可、60点未満は不可。平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として算入されるので注意すること。(英語教室作成)合格者の20(+/-10)%は秀と優、合格者の40(+/-10)%は良、合格者の40(+/-)%は可、それ以外は不可。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前に予約を取ること。

【その他】